

ルフェヌロン乳剤 マッチ乳剤	取扱メーカー： シンジェンタ 原体メーカー： シンジェンタ
成分： ルフェヌロン〔IGR（脱皮阻害）PRTR・2種〕……5.0% その他 PRTR 該当成分： ナフタレン〔PRTR・1種〕……3.2%	性状： 淡黄色澄明可乳化油状液体 毒性： 普通物 消防法： 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険等級III

【品目特性】……………

- ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、オオタバコガなど大型チョウ目害虫を優れた効果で長期間抑制する。
- 幼虫主体の発生初期に散布する事で、長期間密度を抑制する。
- 散布翌日にはハチを導入できる（安全日数1日）。オンシツツヤコバチ、チリカブリダニなど天敵に影響が少ない殺虫剤。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 幼虫の脱皮を阻害してやがて死亡させる性質を持つ薬剤であるので、幼虫期になるべく早く散布する。
- 植物体上での浸透移行性がないため、葉裏にもよくかかるように散布する。
- アザミウマ類に使用する場合、蛹、成虫に対しては効果がないので幼虫主体の時に散布する。
- 本剤の連続散布は、本剤に対するコナガの抵抗性を発達させるおそれがあるので、作用性の異なる他の薬剤との輪番で使用する。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節する。

●トマトサビダニに対しては、成虫には効果がないため発生初期に使用する。被害が目立ってから防除では他剤との併用を心掛ける。

●てんさいに対して希釈倍率750倍（使用液量10 a 当り25ℓ）で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度運動式地上液剤散布装置を使用する。

●茶でルフェヌロンを含む農薬を使用した場合は、同一茶期内では本剤を使用しない。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 共通注意事項8、適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】……………

●甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。

●散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用方法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	ルフェメロンを含む 農薬の総使用回数				
り ん ご	ハマキムシ類	2000 倍	200 ～ 700 ℓ	14 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内				
み か ん	キンモンホソガ	2000 ～ 3000 倍		21 日前 まで	1 回		1 回				
か ん き つ (みかんを除く)	チャノキイロアザミウマ ミカンハモグリガ ミカンサビダニ アゲハ類 ヨモギエダシャク						2 回以内	2 回以内			
	か ん し ょ			ハスモンヨトウ ナカジロシタバ	7 日前 まで				3 回以内		
ば れ い し ょ	ハスモンヨトウ		3000 倍	100 ～ 300 ℓ			前日まで	4 回以内		4 回以内	
キ ャ ベ ツ	コナガ アオムシ ヨトウムシ	2000 ～ 3000 倍	7 日前 まで		3 回以内				3 回以内		
	ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ	3000 倍									
は く さ い	コナガ アオムシ	2000 ～ 3000 倍	14 日前 まで		3 回以内				3 回以内		
だ い こ ん		3000 倍									
非結球あぶら な 科 葉 菜 類		2000 倍									
ブロッコリー	ハスモンヨトウ	3000 倍	7 日前 まで		3 回以内				3 回以内		
ね ぎ	シロイチモジヨトウ	2000 倍									21 日前 まで
わ け ぎ											
ト マ ト	オオタバコガ	2000 ～ 3000 倍	100 ～ 300 ℓ		前日まで				4 回以内		4 回以内
	ハスモンヨトウ	3000 倍									
	ミカンキイロアザミウマ	1000 ～ 2000 倍									
	トマトサビダニ コナジラミ類	2000 倍									
	ハモグリバエ類	1000 倍									
ミ ニ ト マ ト	オオタバコガ	2000 ～ 3000 倍	前日まで	2 回以内	2 回以内						
	ハスモンヨトウ	3000 倍									
	ミカンキイロアザミウマ トマトサビダニ コナジラミ類	2000 倍									
な す ビ ー マ ン とうがらし類	オオタバコガ		4 回以内	4 回以内							
レ タ ス 非結球レタス	ウリノメイガ コナジラミ類				3 日前 まで		3 回以内				
き ゆ う り											
い ち ご	ミカンキイロアザミウマ		1000 ～ 2000 倍	前日まで	4 回以内		4 回以内				
	ハスモンヨトウ	3000 倍									

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	ルフェメロンを含む 農薬の総使用回数
だ い ず	ハスモンヨトウ	3000 倍	80 ～ 300 ℓ	7 日前 まで	2 回以内		2 回以内
え だ ま め			100 ～ 300 ℓ				
し そ	シソサビダニ	2000 倍	300 ℓ	14 日前 まで			
て ん さ い	ヨトウムシ	750 倍	25 ℓ				
	カメノコハムシ アシグロハモグリバエ シロオビノメイガ	3000 倍	100 ～ 150 ℓ				
茶	チャハマキ チャノコカクモンハマキ ヨモギエダシヤク チャノキイロアザミウマ チャノホソガ	2000 ～ 3000 倍	200 ～ 400 ℓ	摘採 7 日 前まで	1 回	散布	1 回
き く	ミカンキイロアザミウマ マメハモグリバエ	1000 倍	100 ～ 300 ℓ	発生初期	5 回以内		5 回以内
花 き 類・ 観 葉 植 物 (きくを除く)	ハスモンヨトウ	2000 倍					